

- 問1 室町時代に足利義満が中国の明と国交を結び、正式に開始した貿易において、正規の貿易船と、当時活動していた海賊である倭寇を区別するために導入された札の名称として正しいものを選択してください。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 割符 2. 朱印状 3. 勘合 4. 宋銭
- 問2 室町時代に農民たちが惣を形成し、領主に対して年貢の減免などを要求できるようになった理由について、農業の発展という観点から説明したものとして最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 二毛作の普及や草木灰などの肥料の使用によって農業生産力が高まり、農民が経済的・社会的な力をつけたから。
2. 千歯こきや備中鍬といった優れた農具の普及により、農民の労働時間が大幅に削減されたから。
3. 高床倉庫による大規模な貯蔵が可能になり、領主に頼らずに食料を長期保管できるようになったから。
4. 幕府の支援による大規模な新田開発が進み、すべての農民が独自の田畑を所有できるようになったから。
- 問3 中世（鎌倉・室町時代）と近世（江戸時代）の日本の貨幣流通状況を比較したとき、中世の経済的特徴を示す背景として最も適切な記述を選択してください。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 国内で統一された貨幣体系が未整備であり、外国との交流によって流入した貨幣が国内流通の主役であった。
2. 定期市における貨幣の使用を禁止、特定の有力な商人のみが外国貨幣を取り扱う仕組みを整えていた。
3. 金座や銀座を各地に設置することで、金・銀・銭からなる全国共通の貨幣制度を独自に確立していた。
4. 中国からの貨幣輸入が途絶えたため、国内の主要な経済活動はすべて米による物々交換に限定されていた。
- 問4 室町時代の幕府の仕組みや役職の性質について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 有力な守護大名が交代で管領に就任し、将軍を補佐して政治を動かした。
2. 将軍直属の軍勢力である奉公衆の中から、実務に長けた者が管領として抜擢された。
3. 将軍の補佐役として執権が置かれ、特定の有力御家人が世襲でその職を独占した。
4. 譜代大名の中から複数の老中が選ばれ、合議制によって幕政が運営された。
- 問5 15世紀に製作された「万国津梁の鐘」の銘文には、「わが国は南海の景勝地に位置し、朝鮮、日本、中国の間にあつて、船を万国の架け橋（津梁）として貿易を行い、国中に宝物が満ちている」という内容が記されています。この銘文に象徴される、当時の沖縄を中心とした地域の状況として正しいものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 琉球王国が、地理的な利点を活かしてアジア諸国を結ぶ海上交易の拠点として繁栄した。
2. 室町幕府の将軍が、倭寇と区別するために勘合を用いた貿易を中国の明との間で開始した。
3. 蝦夷地と呼ばれた地域において、アイヌの人々が北方から来た品物を和人と取引した。
4. 朝鮮半島から多くの技術者が渡来し、須恵器や漢字などの新しい文化が日本に伝わった。
- 問6 室町時代に足利義満が開始した日明貿易（勘合貿易）において、日本が中国（明）から輸入した品物の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の日本は国内で独自の貨幣を鑄造していなかったため、この貿易によって持ち込まれたものが国内の経済で広く流通しました。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 銀・ガラス製品・経典 2. 綿織物・鉄・鉄砲 3. 銅・硫黄・刀剣 4. 銅銭・生糸・書籍
- 問7 足利尊氏が征夷大將軍となり幕府を開いた14世紀ごろ、日本の周辺海域で活動が活発化した集団について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島や中国沿岸で海賊活動や密貿易を行った倭寇が活動した。
2. 勘合貿易を独占し、幕府の許可を得て朱印船を派遣した。
3. 元軍が日本に侵攻した際、対馬や壱岐で抵抗した防人が組織された。
4. 天下の台所と呼ばれた大阪を拠点に、全国の物資を管理した。
- 問8 室町幕府の政治体制について、最高職である管領の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 北条氏が世襲でその職に就き、実権を握って将軍に代わり政治を行った。
2. 九州地方の軍事や警察、外交を統括するために設置された地方の長官である。
3. 足利氏の一門である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、将軍を補佐した。
4. 有力な譜代大名の中から複数が選ばれ、月番交代で幕政を運営した。
- 問9 琉球王国の歴史や貿易の状況について説明した文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 明治政府によって派遣された屯田兵が中心となり、北方領土の開拓と交易の拡大を進めた。
2. 尚氏が統治し、東南アジアや中国、日本を結ぶ海上交通の拠点として中継貿易で繁栄した。
3. 江戸幕府の鎖国政策のもとで、長崎の出島のみを窓口としてオランダや中国と貿易を行った。
4. 宗氏が対馬を拠点として、朝鮮半島から輸入される朝鮮人参などを日本本土に広めた。
- 問10 室町時代、近畿地方などの先進地域を中心に、農民たちが自衛や村の運営のために結成した自治組織を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 惣 2. 座 3. 株仲間 4. 五人組
- 問11 室町時代に発達した、墨一色の濃淡で自然の風景などを表現する絵画の技法と、その技法を用いて「秋冬山水図」などの作品を残し、日本の芸術に大きな影響を与えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. 唐三彩 – 鑑真 2. 浮世絵 – 近松門左衛門 3. 大和絵 – 紀貫之 4. 水墨画 – 雪舟
- 問12 15世紀後半に発生し、その後の戦国時代の幕開けとなった「応仁の乱」が始まった直接的な原因として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 領主による重税やキリスト教への弾圧に対し、九州地方の農民たちが団結して蜂起したこと
2. 室町幕府の将軍の後継者問題に加え、細川氏や山名氏といった有力な守護大名の対立が重なったこと
3. 天武天皇の没後、その息子と弟が皇位継承をめぐる全国規模の戦いを繰り広げたこと
4. 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げ、有力な御家人たちが東西に分かれて争ったこと
- 問13 後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、1338年に光明天皇から征夷大將軍に任命されて、京都に武家政権である室町幕府を開いた人物は誰ですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 足利義満 2. 足利尊氏 3. 源頼朝 4. 足利義政

答え合わせ・解説

問1	答え 3 勘合	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、明との間で正式な国交を樹立し、貿易を開始しました。当時、東シナ海などでは倭寇と呼ばれる海賊が略奪を行っており、明の沿岸部に甚大な被害を与えていました。明側からの要求に応じ、倭寇と幕府公認の貿易船を明確に判別するため、2枚の札を照合させる「勘合（勘合符）」という仕組みが用いられました。これにより、幕府の管理下で安定した貿易が行われるようになりました。
問2	答え 1 二毛作の普及や草木灰などの肥料の使用によって農業生産力が高まり、農民が経済的・社会的な力をつけたから。	室町時代には、二毛作や草木灰・草木による肥料の利用、牛馬の活用などによって農業生産力が大きく高まりました。これにより農民たちが経済的・社会的な力を蓄え、惣を結成して団結することで、領主に対して強気に交渉できるようになりました。
問3	答え 1 国内で統一された貨幣体系が未整備であり、外国との交流によって流入した貨幣が国内流通の主役であった。	江戸時代の幕府が「三貨」と呼ばれる独自の貨幣制度を確立したのに対し、中世の日本では自国で貨幣を作る体制が整っていませんでした。しかし、商業の発展に伴い交換の媒介となる貨幣が必要になったため、中国の王朝から輸入された宋銭や明銭が、民間の売買や徴税の現場で不可欠な存在となりました。このように、他国の経済力や貿易に依存して国内の通貨供給をまかなっていた点が中世経済の大きな特徴です。
問4	答え 1 有力な守護大名が交代で管領に就任し、将軍を補佐して政治を動かした。	室町幕府は、足利将軍家と有力な守護大名の連合政権という性格を強く持っていました。そのため、幕府の最高職である管領には、有力な守護大名である細川氏、斯波氏、畠山氏の三氏が就く慣例となっていました。これに対し、執権は鎌倉幕府、老中は江戸幕府の役職であり、それぞれの時代の政治体制の違いを理解することが重要です。
問5	答え 1 琉球王国が、地理的な利点を活かしてアジア諸国を結ぶ海上交易の拠点として繁栄した。	「万国津梁の鐘」は首里城の正殿に掛けられていたもので、銘文の内容は琉球王国が自らをアジア諸国の架け橋と定義し、国際貿易で経済的に潤っていた誇りを表しています。選択肢にある蝦夷地は現在の北海道を指し、アイヌ文化圏として琉球とは異なる独自の交易を行っていました。また、勘合貿易は足利義満が始めた明との貿易であり、琉球の状況とは異なります。
問6	答え 4 銅銭・生糸・書籍	室町時代、幕府は明から大量の銅銭（永楽通宝など）を輸入することで、国内の貨幣経済を発展させました。また、高級な衣服の原料となる生糸や、当時の知識層が求めた書籍も主要な輸入品でした。一方で、選択肢にある「銅・硫黄・刀剣」は日本から明へ送られた輸出品であり、「鉄砲」が伝来するのは戦国時代に入ってからのことです。
問7	答え 1 朝鮮半島や中国沿岸で海賊活動や密貿易を行った倭寇が活動した。	14世紀（南北朝時代から室町時代初期）には、倭寇と呼ばれる集団が東アジアの海域で活動を強め、高麗や明を悩ませました。足利義満の代になると、これらを押さえ込む目的も兼ねて明との間で勘合貿易が始まります。防人は古代の制度、朱印船貿易は安土桃山から江戸初期、天下の台所は江戸時代の状況を指します。
問8	答え 3 足利氏の一門である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、将軍を補佐した。	管領は将軍に次ぐ役職であり、幕府の政務を統括する役割を担いました。足利氏と血縁関係の近い有力な守護大名である細川・斯波・畠山の三家が交代で就任する仕組みとなっており、幕府の権威を維持しつつ、有力大名の不満を抑える側面もありました。
問9	答え 2 尚氏が統治し、東南アジアや中国、日本を結ぶ海上交通の拠点として中継貿易で繁栄した。	琉球王国は、中国大陸への朝貢を欠かさず良好な関係を保つ一方で、日本の室町幕府や東南アジアの諸国とも活発に交流しました。この広範なネットワークが、小さな島国であった琉球に大きな富をもたらしました。他の選択肢は、対馬の宗氏による朝鮮貿易や、北海道の開拓、江戸幕府の長崎貿易に関する記述であり、琉球王国の説明とは異なります。
問10	答え 1 惣	室町時代になると農業技術の向上によって農民の地位が高まり、自分たちで村を運営する「惣（惣村）」が作られました。これに対し、「五人組」は江戸時代の幕領などで組織された連帯責任の制度であり、「座」や「株仲間」は商工業者の同業者組織を指します。
問11	答え 4 水墨画 - 雪舟	室町時代には、禅宗の影響を受けて墨の濃淡のみで表現する水墨画が好まれました。雪舟は明に渡って本格的な技法を学び、日本の水墨画を大成させた人物として知られています。紀貫之は平安時代の歌人、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者、鑑真は奈良時代に仏教を伝えた僧侶であり、時代や分野が異なります。
問12	答え 2 室町幕府の将軍の後継者問題に加え、細川氏や山名氏といった有力な守護大名の対立が重なったこと	8代将軍足利義政の後継争いと、幕府の要職を務める有力な守護大名どうしの勢力争いが結びついたことが大きな原因です。これにより、細川氏を筆頭とする東軍と山名氏を筆頭とする西軍に分かれた大規模な内乱へと発展しました。選択肢にある後鳥羽上皇の動きは「承久の乱」、皇位継承をめぐる古代の争いは「壬申の乱」、キリスト教関連の蜂起は「島原・草子一揆」を指します。
問13	答え 2 足利尊氏	鎌倉幕府を滅ぼす際に貢献しましたが、その後の後醍醐天皇による公家を重視した政治に武士たちが不満を抱いたため、それらの武士をまとめて独自の政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。